

2025沖縄プロジェクト

緑の山肌が茶色に

今年の沖縄プロジェクトは、基地に行かないツアーになりました。辺野古の座り込みから始まり、伊江島、ひめゆりの塔、など沖縄の歴史を再確認するツアーになり、沖プロに、初めて参加した時からを振り返るよいきっかけにもなりました。自分がこの時期なると、沖プロにかき立てられる理由は、沖縄の活動家達の優しさ、いくたびに、ふれるからだと思ふ。伊江島の又チドゥタカラの家の言葉がそれをものごたる。

伊江島の土地を守る会 1970年6月』このことを55年間ずっと守って運動を続けている。私達が沖縄に来ることをとても感謝して迎えてくれる。国からお金もらって警備に協力している人達に文句も悪口も言わない。優

『米軍と話をする時　しさを大切にした運動
は、なるべく大勢で何をし続けている。』

『けして短気をおこさず相手の悪口を言わない』

6年前伊江島のヌチドウタカラの家での御婆の話を思い出した。「わたしは共産党が嫌

『嘘偽りを言わない。布令布告に問わず道理と誠意をもって話すこと』

50年前の共産党の一部

『沖縄人どういかなる人があつてもけして喧嘩をしないこと』

の人に綱領片手に論破することが正しいと思つてゐる人が少なからずいた。そんな人達と

『私達は挑発に乗らない為今後常にもこの規定を守りましょう。』

一線を置いたのだと思う、自分自身そんな部分が少ないからあつた



大浦湾を背に高台からの一枚

「ような気がする、今となつては、とても恥ずかしい」

最初に沖縄に行った時、活動家の伊佐さんに言われことも思いだした「沖縄の現実をしっかりとらいけど沖縄の

伊江島の戦争の記憶今も

今年は戦後80年の節目の年の沖縄プロジェクトでした。

辺野古の基地建設に反対する人たちが集まるキャンプ・シユワブのゲート前に行きました。毎年座り込みをするゲートは新ゲートとなり相変わらず大型下

は私たちの問題だと思
つて関心をもつてもら
えるようになって来た
のです。今までの抵抗
運動は無駄ではなかつ
たけれど、基地問題の
苦しみを、なんとか多
くの人に伝えたい。そ
して知ってもらいたい
んです。

まれる旅になった。
沖繩戦の激戦地・伊
江島は、戦後もアメリ
カ軍に強制的に土地を
奪われた島でもありま
す。その伊江島で、土
地を守ろうと奮闘した
人々の抵抗の象徴とな
った建物が団結道場で
す。

ラックで土砂を選び込んで行きます。今日なにもしなければ米軍基地なんてあつという間た。

今年の沖縄プロジェクトでは伊江島にも行かせていただきます

今から73年前、沖縄戦で激戦地となった伊江島では、住民およそ1500人を含む47

に作られてしまう。それを何年も引き延ばしてきたから、4000日を超える戦いを頑張ってきたのです。これが大切だと心に刻

伊江島には、戦争の記憶が今も刻まれていた。実際に歩き、見て、感じ、そして忘れないことが大切だと心に刻

00人以上の命が奪われました。しかし、奪われたのは命だけではありませんでした。島の6割以上の土地を強



大型のダンプが100台以上土砂を運びます

付いた。緑の山肌が茶色になつていた。辺野古の埋め立てに使われている。むちゃくちや腹が立つた。これからも沖縄の現実をちゃんと伝えようと思います。

柿の木八雲 千葉一郎

記憶今も

まれる旅になつた。

沖縄戦の激戦地・伊江島は、戦後もアメリカ軍に強制的に土地を奪われた島でもあります。その伊江島で、土地を守ろうと奮闘した人々の抵抗の象徴となつた建物が団結道場です。

今から73年前、沖縄戦で激戦地となった伊江島では、住民およそ1500人を含む4700人以上の命が奪われました。しかし、奪われたのは命だけではなく、島ありませんでした。島の6割以上の土地を強

制的に奪われ、そしてその土地に作られたのが、現在の伊江島補助飛行場。

この場所をにらむように建ち、島民たちがアメリカ軍の強制接収に抵抗した歴史を今に伝える建物が団結道場。壁に書かれた教訓は、「殺し合いではなく助け合う人間。奪い合いではなく譲り合う人間。騙し合いではなく教えあう人間。そういう人間が平和を作る」 「非暴力というの

命の尊さ、平和の大切さ

は暴言・暴力振ったらは学習」である。勉強して、物事をわからないと、この状況では戦えない。『平和の武器

教宣部長
(Y)

命の尊厳、平口の

戦後80年の今年も沖繩を訪れ戦争で何が起きたか人々の命が失われたか、考えて来ました。

初日、辺野古の座り込みをしながら埋め立て工事の為のトラックの数、警備の人達の様子、変わり果てていく辺野古を見ながら日本は、又戦争への道を行くのではと不安になりました。

はないのか、怒りを持って生きてる、沖縄の、日本の政治のあり方を見ていると死ぬに死ねないと力強く話された後、伊江島に来てくれたことに感謝され、握手してもらおうと涙がポロポロツと落ち、一緒

2日目は、伊江島へ、
 “命だう宝の家”のおばあ(謝花悦子さん)は、
 少し痩せられ様でした。
 に、平和を願ひ運動を
 止めてはならないと言
 われているようでした。

が、変わらず元気に、伊江島の今、基地のこと、戦後集められた戦争遺産である展示物のことを話され、戦争は、やっぱりはならない、平和ではならない、

30日は、ひめゆりの塔に初めて行き、お参りさせてもらいました、私は、ひめゆり学徒隊は、看護学校の生徒さん達だと勘違いして



伊江島唯一の山はほぼ崖です

戦争というのは人災です。福島地震や津波ではないんです。人間が起こす戦争であるならば、人間が止めなければいけない。止められるものです。

は、もうぐったりでした。が、実際に女子生徒たちに起きた本当のことを知ることが出来たことに感謝しました。

そして、今自分たちはそれなりに楽しく生き

日本や世界で起きる理不尽な出来事に「慣れ」や「無関心」な自分になんて対抗するのかわからないと思いました。

思い知らされました。

沖縄で過ごした3日間を、私たちの心に残る感情とともに、私たちの仲間たちに届けることが、今できる行動だと思います。

ひめゆりの塔にお参りしたあとは、戦争中多くの人がアメリカ軍に追われ、日本兵に説得され身を投げ命を落とした、喜屋武岬に行きました。ここはた

教宣部長（Y）

いたのですが、実際は、普通に勉強する学生で、スポーツに打ち込み、友達と楽しい時間を過ごしていたのに戦った、しかも訪れた今と、同じ様な気候だったであろうと思うと本当に苦しくて、仕方がありませんでした。沖縄プロジェクトに参加させてもらう度に、

争になったことで、無理やり、負傷兵の治療の手助けをさせられたり、戦争にまきこまれ、恐ろしい体験をし、多くの人が命を落としたというものでした、この時生き残った人達がようやく自分たちにも命の尊さ、平和の大切さを感じます。自分の目で見て、聞いて体感することの凄さを感じますが、平和であるために何をしたら良いのかと思つた時、事実を知つて伝え続ける事だと思いました。沖繩を

起きた、許しがたいツライ話を、次の世代に伝えなければと話をしてくれるようになり、

知って体感できた事に感謝をし、平和について考える機会になりました。本の今と重なりまし

映像や文章で見て聞くことができました。それは、余りに無残で、胸が詰まり、涙が止まりませんでした。

資料館をでたあと柿の木八雲 千葉整子

柿の木八雲 千葉整子

2025年原水爆禁止世界大会・長崎

多くの若者の参加に感動

長崎原爆の日、1日。今年の大会には、目羽田出発で約30分、多くの若者の参加が目立ちました。次代を荷負う若者の存在に感動しました。

開会総会では1階も2階も満杯でした。被爆80年の影響があると思いまし

世界大会2日目、長崎大学で行なわれたフォーラムに運営委員と

13時から緊急企画としてガザ住民非核平和の中東をテーマに元エジプト外務次官から話を聞きました。

西岸地区とガザの現状とイスラエル軍の蛮



原水爆禁止世界大会長崎会場の全体会場

行を聞きました。

14時過ぎからは、核兵器のない平和で公正な世界を一市民運動の共同と交流について、イギリス、アメリカ、韓国、日本のパネリストが今日の核兵器と戦争をめぐる情勢のもと、核兵器廃絶、緊急の課題となつてい



見事な折鶴のオブジェ

今日の聞き手は明日の語り手

【8月7日(木)】羽田で遅れ、福岡では雷雨のため飛行機からの作業が止まり、しばらく機内で足止めさ

れました。さらに豪雨の滞りでバスが2時間ちよつと遅れました。バスの中で各自自己紹介があり、中でも大学

生の自己紹介で高校生の時から、高校生1万人署名を取り組んでいた。若い人の学ぶ意欲がすごいです。負けずに学びます。

大会では主に原爆体験談が語られました。想像を絶する語りでした。とても苦しくなります。

第2部では体験談を歌にして合唱が行われました。音楽があるの

で、没入し涙が止まりません。

1日目のまとめでは、今日の聞き手は、明日からは伝え手になります。学んで、伝えて行きたい意欲がわきます。



青木英太都議(中央)から賛同署名を受け取る君塚広一郎(左)

都議会賛同署名

建設国保の強化、拡充へ

7月24日、目黒区選出の自民党、青木英太都議会議員の洗足事務所へ伺い、建設国保への賛同署名をいただきました。まだ今年度受診されたい方は3月末までにお忘れなく受診をお願いします。

社会保険対策部(Y)

核廃絶への思い入れに脱帽

初参加の長崎世界大会は、昨年の広島大会の会場より狭めで、規模が小さく感じたが、登壇された方々の言葉はとても重く、被爆者

空港からバスで一緒

広島につづき2回目

はじめての長崎会で機の影響が遅れがでしたが、なんとかつききました。大会は、広島の時と戦争の重さは同じでした。今回は、被爆者さんのお話が多く、爆者さんのお話をききました。自分も後世に残せるように、勉強です。

学芸大 日下愛史

辺野古基地建設が最大の声を上げるすべての人と連帯、協同、共同に歯止めが利かなくな「気候危機」と「平和の危機」に立ち向かうために「核兵器のない平和で公正な世界を」

書記局 日下解人

青年後継者合同夏のサクプレ

ジェットボード体験



湧池看板の前での一枚

8月3日に山梨県の山中湖にある白鷹マリンにて、後継者&青年部合同開催しフライボード体験レクを開催しました。当日は台風の影響もなく、レク日和となり、朝早くからみんなでワクワクしながら向かいました。高速道路も不自由無く快適に進み、到着予定の10時より1時間以上早く着いてしまいました。

少し予定を変更して早めの昼食前に【忍野八海・おしのはつかい】という国の天然記念物でもある湧池に向かいました。

この八つの池は富士山の雪解け水が溶岩を抜け、底から何十年と湧き続けて出来た天然の洞穴が池となった場所です。大切に奉られてきた場所でも身も



抜群の体幹で上がる浅野本部青年部長



花を受け取る今村さん夫婦 (中央・右)

自由が丘の焼き鳥屋「てけてけ」で、竹のこ会役員有志の15人が集まり納涼会が行われました。今村さんは奥さんと一緒に出席され、先ずは本宮議員会、拡大を「いっばい頑張ったね」など昔話に盛り上がりました。

自由が丘の焼き鳥屋「てけてけ」で、竹のこ会役員有志の15人が集まり納涼会が行われました。今村さんは奥さんと一緒に出席され、先ずは本宮議員会、拡大を「いっばい頑張ったね」など昔話に盛り上がりました。

竹のこ会納涼会

今村前会長労う



子どもに組み立て方を教える高橋龍賢青年部長 (左)



不動 町田新一

「E」プラザで「D」子ども達に工作指導

7月26日(土) 田道ふれあい館地下1階の目黒区エコプラザで夏休みにも定期的に開催されている「DIY子ども工作教室」に参加しました。

講師として参加した東京土建目黒支部の大木 龍賢君、吉羽さんの5人です。今後地域交流に貢献したいので情報がありましたらお知らせ下さい。

この教室では、木工体験を通じて、モノづくりの楽しさや、木製品の環境へのメリットなどを学ぶ事ができます。製品の環境へのメリットなど、学ぶ事ができ木の特性や、木の大切さを学ぶのも目的の一つです。



おすすめ観劇 劇団四季『ライオンキング』

7月26日(土)、有明四季劇場に35人が集まり、厚生文化主催で劇団四季のミュージカル『ライオンキング』を観てきました。

支部では劇団四季の観劇の呼びかけがなかったため、多くの参加者がいるだろうと思いが、申し込みをしてい

た。帰りは遠回りですが、帰りがけに東京の海を見て帰りました。タワーマンションがたかさんでできています。目黒とは違う景色です。

今の時期は暑いので我が家には上裸の息子がいて、本人は裸の王様だと言っており、突然「ハクナマタタ」と言います。すると「心配ないさ」と返します。なんと平和な光景でしょう。アホな光景、本物の芸術は純粋に心に響きます。子どもたちが大きくなると、同じ時間を過ごすことが少なくなっていく。感動を共有できなくなっていく。が、思い出に残る素晴らしい時間を過ごすことができました。

不動 井上浩子

今月の映画・美術展チケット★

- 映画
- ①「遠い山なみの光」 一般1300円
 - ②「リモノフ」 一般1300円
 - ③「劇場版『チェンソーマン レゼ篇』」 一般1200円
 - ④「九龍ジェネリックロマンス」 一般1300円
 - ⑤「テイク・ミー・サムウェア・ナイス」 一般1200円
 - ⑥「宝島」 一般1300円 小人600円
 - ⑦「おいしい給食 炎の修学旅行」 一般1300円
 - ⑧「愚か者の身分」 一般1300円
 - ⑨「ミーツ・ザ・ワールド」 一般1300円
 - ⑩「羅小黑戦記2 ぼくらが望む未来」 一般1300円
 - ⑪「ムガリッツ」 一般1300円
 - ⑫「やがて海になる」 一般1200円
 - ⑬「TOKYOタクシー」 一般1300円
 - ⑭「旅と日々」 一般1300円
- ※3D上映は別途料金がかかります。
※座席不要のお子様、学生やシニア割引のお取り扱いには劇場によって異なります。
直接劇場にてご確認ください。
- 美術館
- ①「スウェーデン国立美術館—素描コレクション展—ルネサンスからバロックまで」 一般1500円
 - ②「トーベとムーミン展—とっておきのものをさがしに」 一般2000円
 - ③「オルセー美術館所蔵 印象派—室内をめぐる物語」 一般1800円